

令和8年度 学校経営計画書

金沢大学附属高等学校

1 学校目標

- (1) 本校は、金沢大学人間社会学域学校教育学類の附属学校として、「教育基本法」・「学校教育法」に基づき、高等普通教育を行うとともに、高校教育の理論的・実証的研究、教育実習などを行う。
- (2) 本校は、「自主自律」の校訓の下、「地球サイズの教育」を行い、国際社会の創造に主体的に貢献できるグローバルな人材を育てる。

2 中期目標

(1) 学校の現状

- ① 本校は、平成26年度から5年間スーパーグローバルハイスクール（SGH）教育研究校に、令和元年度からはワールド・ワイド・ラーニングコンソーシアム拠点校（WWL）に指定され、社会課題に対する強い関心と深い教養、高度のコミュニケーション能力、持続可能な社会の実現、課題発見および解決の能力を持つグローバルに活躍できるリーダーの育成を期した教育に取り組んでいる。
- ② 金沢大学人間社会学域学校教育学類・教職大学院および他の附属学校園、シンガポール National Junior College（NJC）との共同研究の推進を図っている。
- ③ 金沢大学人間社会学域学校教育学類および他の学類・学域、さらには他大学からも教育実習生を受け入れているとともに、教職大学院からの学校実習生も受け入れている。

(2) 生徒に関する中期目標

- ①（生徒指導）グローバル人材にふさわしい知識・技術及び何事にも丁寧に対処する心を育てる。
- ②（学習指導）社会にある課題を発見し解決する力、自己を磨く深い教養、高度なコミュニケーションスキルを身に着け、地球の環境と人類の平和をリードする人材を育成する。
- ③（進路指導）自己のあるべき姿から主体的に選んだ進路の実現を支援する。

(3) 学校運営に関する中期目標

- ① 金沢大学内組織として高大連携の充実を図り、教育の今日的課題へのアプローチをテーマにした実証的教育研究を推進する。
- ② 金沢大学人間社会学域学校教育学類（附属学校園含む）・教職大学院と密接に連携協力して、これからの教育を牽引して行く担い手を育成する。
- ③ 地域の国公立・私立学校と連携協力し、教育研究成果の広報および普及を通して「WWL 拠点校」として、地域の教育に貢献する。

3 今年度の重点目標：

SGH 5年間、WWL 4年間の研究成果をもとに、グローバル・リーダーの育成を継続する。

- ① 生徒指導：健全なる身体を養い、純真明朗を旨として、協同友愛の学校生活を送る。
- ② 学習指導：真理に対して強い情熱をいだき、あくまでも謙虚に努力精進する。
- ③ 進路指導：独立自治の精神をもとに、個人としての人間完成に努めるとともに、社会人としての品性を陶冶する。
- ④ 学校運営：教職員の働き方を見直し、教職員がすべき仕事に時間を割けるようにする。